

令和6年度
安芸市東山森林公園リニューアル計画
基本構想



目次

リニューアル

計画基本構想

詳細説明

巻末資料

業務の目的	P. 3
安芸市東山森林公園のリニューアル全体像	P. 4
安芸市東山森林公園の強み	P. 6
安芸市東山森林公園の現状と課題	P. 7
リニューアル計画のコンセプト	P. 8
森林公園リニューアル事例の紹介	P. 9
A:トレイルエリアの整備（ショートコース）	P. 10
A:トレイルエリアの整備（ロングコース）	P. 11
B:イベントエリアの整備（中央広場）	P. 18
C:新規事業エリアの新設（キャンプサイト）	P. 20
樹木診断の結果と必要な対応	P. 21
サイン計画（案内看板・誘導サインのリニューアル・新設）	P. 32
情報発信強化	P. 35
安芸市東山森林公園のリニューアルに向けた管理体制	P. 36
リニューアル費用（概算）	P. 37

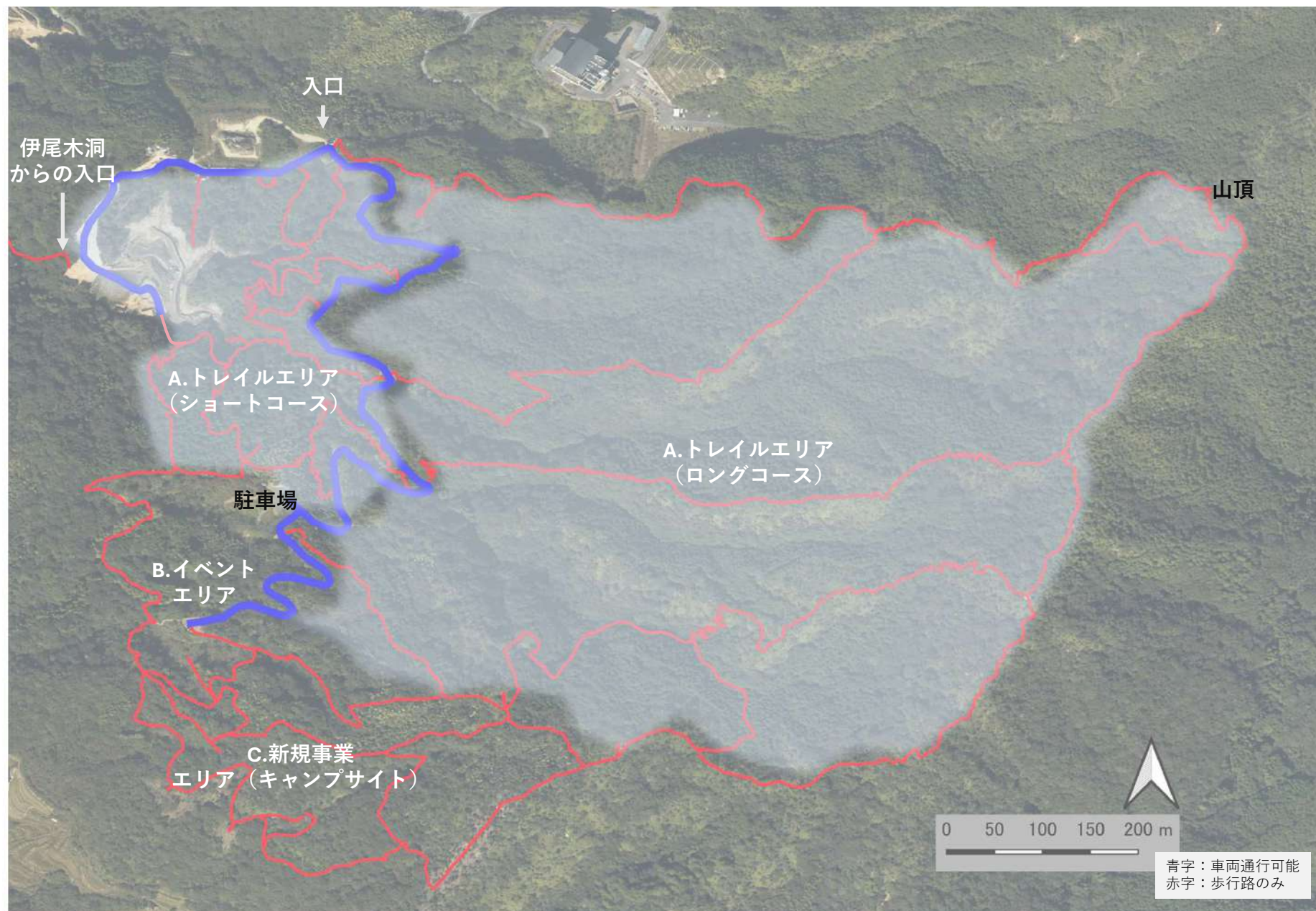


近年、木材価格の低迷、林業就業者の高齢化、担い手不足などにより安芸市内には適切な管理をされていない森林が増加している。このような現状を改善するため安芸市では安芸市流域森づくり構想を策定し取り組みを進めることとしており、安芸市東山森林公園のリニューアルはそのアクションプランの一つである。

本リニューアル計画は現地調査、市民ワークショップ、踏査・樹木診断を踏まえ、安芸市東山森林公園が直面している課題を明確にして、安芸市民および市外からのアクセス者が森林に親しみをもつための拠点・森林環境を身近に楽しむことができる場所として安芸市東山森林公園の利用を促進するために実施するリニューアルの基本構想とする。



安芸市東山森林公園のリニューアル計画は既存の設備や地形特性、周辺環境への影響を十分考慮し、公園内及び周辺地域との調和を図りつつ、市民のニーズを理解した新しい公園の活用方法を検討する。安芸市内外を問わず多くの人が興味を持って訪れ、活発に利用できる森林公園を見据えた施設・インフラ整備、加えてソフト面での体制強化を実行する。



A.トレイルエリアの整備

広大な山林・散策路を活かしそれぞれのMyforest（※）を楽しめるように整備するエリア。竜王池周辺のショートコースと山頂まで登るロングコースを設定する。

ショートコースの魅力：アクセスの良さ、森の多様性
ロングコースの魅力：景観が良い

- 【重点アクション】
- a. 展望スポットの眺望確保
 - b. ルート案内の強化

ショートコース（竜王池→中央広場）

- 1|現存の樹木を活かした整備
- 2|見通しの確保
- 3|公園案内看板・誘導サインの設置・見直し
- 4|企業との連携
- 5|竜王池を周回するコースの価値

ロングコース（5コース）

- 6|山頂の展望スポット整備
- 7|コース名
- 8|各コースのランドマークの設定
- 9|誘導サインの設置・修繕
- 10|崩落橋などの残材・ロープ・枯れ木などの撤去
- 11|コース名の植物を目立たせる整備

※My forestとは、安芸市東山森林公園のコンセプトである。人々それぞれが自分の庭であり財産のように身近に感じれる価値づくりを目指し、自分ならではの安芸市東山森林公園の“推し”ポイントをそれぞれに見つけてもらう。

B.イベントエリアの整備

安芸市東山森林公園を知ってもらい、来る目的となるイベントを開催する会場エリア。中央広場に駐車場を整備し、バリアフリーにも配慮したエリアにする。

魅力：車でアクセスできる平場がある

- 【重点アクション】
- a. 駐車スペースの区画化
 - b. ウッドデッキの新設
 - c. 誘導サインの改修・新設

- 1|案内看板の改修
- 2|見通しの確保
- 3|平場の拡張・バリアフリー化
- 4|林内ウッドデッキ
- 5|屋根付きウッドデッキ
- 6|駐車場整備・シンボルツリーの明確化
- 7|トイレの整備（照明導入・水洗化）
- 8|サクラ・モミジの樹勢回復

C.新規事業エリアの新設

安芸市東山森林公園を活用した新たな取り組みとしてキャンプサイトや森林サウナなど新たな看板となり収益活動が可能なエリアにする。

魅力：景観が良い

- 【重点アクション】
- a. キャンプサイトの新設・管理運営体制の確立
 - b. 眺望の確保
 - c. サクラの名所づくり

- 1|インフラの整備
- 2|アクセス整備
- 3|キャンプサイト候補①、②の確保
- 4|キャンプサイト候補③、④の確保
- 5|海の見える眺望の確保
- 6|管理事業者の確保・体制の確立
- 7|サクラの名所づくり

- 【重点アクション】
- a. 管理体制の確立
 - b. 情報発信の体制整備
 - c. 各種イベントの実施

- 1|マップの新規作成
- 2|ブラウザマップの作成
- 3|パンフレットの作成
- 4|自然共生サイトの情報発信
- 5|伊尾木洞との連携

利用方法の
可視化
利用方法の発信

Ⅰ 気軽に訪れやすい立地

安芸市の市街地に隣接している東山の山腹にある安芸市東山森林公園は安芸広域メルトセンターへのアクセス道や国道55号から伊尾木洞経由で訪れることができ、市街地から車で約20分の場所にある。登山コースもある本格的な森林公園だが、比較的人々が訪れやすい場所にあるため、多くの人に利用してもらえるポテンシャルを秘めている。



Ⅰ 市内と海、山々を一望できる

安芸市東山森林公園は市内側の山腹にあるため、いたる場所から景色を楽しむことができる。東山自体が土佐湾に接しているため、市街地、土佐湾、妙見山などの山々を一望でき、安芸川、伊尾木川流域を囲む自然や文化を目で見て感じることができる。



Ⅰ 自然学習に活用できる拠点

安芸市東山森林公園は、生物多様性保全が評価されて環境省の自然共生サイトに認定され、隣接した伊尾木洞には国の天然記念物に指定されたシダ群落があるなど、植物をはじめ鳥類や竜王池の魚類などの生物多様性に富んでおり、自然学習の場、自然観察の場として活用できるポテンシャルが高い。



Ⅰ 森林イベントを企画できる存在

安芸市内には林業や自然体験活動に理解があり情報発信に積極的で活発な市民団体・関係組織が存在することが強みである。今後の安芸市東山森林公園の認知向上と利用者向上、および満足度向上には、市民参加型の様々なイベントを企画・誘致し、実行・継続が肝となるため、その存在は大きなポテンシャルである。



Ⅰ 広大な敷地と複数の既存トレッキングコース（山頂までの5コース+多くの散策路）

88.2haに及ぶ広大な敷地があり、天然林に加えスギ・ヒノキの人工林、メタセコイア林、イチヨウやサクラといった四季で自然を楽しむことができる緑化植物が存在し、安芸市の生態系を学ぶための学習や林業実習に活用が期待できる。また、1986年開園時に様々な丘陵線を歩くトレッキングコースが整備されており、複数のルートで公園散策を楽しむことができる。



Ⅰ 安芸市東山森林公園についてアクセス情報が少ない

安芸市東山森林公園の基本的な情報は限られている。例えば、アクセス情報として駐車場がどこか、入口までの所要時間はどの程度かかるかなど具体的な情報を知る媒体がない。そのため、安芸市東山森林公園の存在を知っているが訪れたことがないという潜在的な利用者がいる可能性がある。



アクセスがわからない

何をするかわからない

何がいいのかわからない

課題の深層構造
ピラミッド

Ⅰ 設備の不足、老朽化

安芸市東山森林公園の入口や散策路の分岐部などには誘導サインが欠如している場合が多く、初めて訪れる人が気軽に散策できる状態ではない。また、既存の案内看板の老朽化やトイレ、通信環境といった現代社会で必須のインフラ設備の不足などは利用者に不便さを感じさせ、せっかく来てもらっても一回限りの利用になってしまう恐れがある。



Ⅰ 何があり、何ができるかの情報が少ない

安芸市東山森林公園に何があるのか、どんなアクティビティがあり、何ができるのかの情報が限られており、利用方法・過ごし方を検討することができない。イベント情報なども適切に利用者に届いていない可能性がある。

Ⅰ 安芸市東山森林公園を訪れる良さを感じない

元々森林や野外アクティビティに興味がなかったり、森林の価値について関心がない層には、安芸市東山森林公園がそもそも認知されていない可能性がある。

リニューアル計画のコンセプト

My forest ～私の森林公園～

人々それぞれに自分の庭であり財産のように身近に感じられる場所
自分ならではの安芸市東山森林公園の推しポイントをそれぞれに見つけ、利用する場所を目指す



ARUKU

安芸市民向けに、My forestを見つけてもらうためのキーワード

公園内の様々なコースを歩くと自分の好みの道や、お気に入りスポット、利用方法が見つかるかもしれない。森林と生きる幸せを感じられるシンボリックな場所に育てていきたい。一人でもいい、誰かとでもいい。歩くことで、自分の心も体も周囲も健康で前向きに。

BLUEGATE

市外およびインバウンド向けにMy forestを見つけてもらうためのキーワード

これほど町から近く、森林を楽しむことができかつ海の展望が望める場所はなかなかない。観光資源として、安芸市の青い海と森のウェルカムゲートとして位置付けていきたい。

森林公園リニューアル事例の紹介（群馬県立赤城公園の活性化に向けた基本構想）

県立赤城公園の現状と課題

①利用スタイルの多様化

→多様化するニーズへの対応の遅れ

②地元事業者の高齢化と後継者不足

→公園運営・管理の人員不足

・新たな担い手の確保

③老朽化県有施設の維持管理費用増大

→県有施設の必要性の再確認と

維持管理財源の確保



引用: *1 NPO法人赤城山自然塾 *2 (株)スノーピーク *3 園田工業

◆県立赤城公園の歳入・歳出の実績（令和元年度） 年間利用者：約55万人（単位：千円）



◆主な費用内容

人件費	・公園管理員
委託費	・ビジターセンター管理 ・公衆トイレの清掃 ・公園内の清掃、草刈りなど
工事費	・登山道、木道などの改修 ・公衆トイレの改修 ・災害対応（土砂撤去、施設復旧など） ・施設の改修 など

◆課題

①マンパワーの確保

②財源の確保

⇒課題解決に向けた
取組が必要

持続可能に向けた新たな取組

①未利用の土地・空間を有効利用

ビジターセンター食堂スペースにカフェを開設
⇒条例による使用料納付により収入が増える
今後、民間事業者への積極的な貸付を推進する

②新たな担い手の確保

県立赤城公園への新たな民間事業者を募集
⇒民間事業者の進出によりマンパワーが増える
地元活動（清掃等）に積極的に参加してもらう

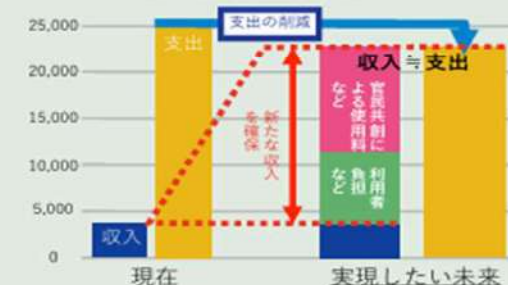


官民共創による持続可能な公園管理・運営体制

県立公園のポテンシャルを最大活用し、
新たな地域顧客を増やすための魅力を創出し、
自律性ある持続可能な公園管理・運営の実現を目指す。



<収入と支出の改善目標イメージ>



エリア改善イメージ ショートコース（竜王池→中央広場）



案内看板の設置・見直し



黄色：竜王池周囲コース
青色：車両通行可能
白色：散策路のみ

公園入口

竜王池

伊尾木洞との合流地



人工林を整備



誘導サインの設置
（ほか多数）



モミジ並木



人工林とシンボルツリーの整備



竹林を整備

中央広場



メタセコイヤ並木



イチョウ並木



竜王池

1|現存の樹木を活かした整備

公園の入口から中央広場までの散策路にはサクラやモミジ、イチョウ、ヤブツバキといった四季の変化を楽しめる樹木がすでにあるので日当たり改善や竹林整備など周辺を整える。

2|見通しの確保

斜面下部はスギの人工林が鬱蒼としており見通しが悪い。伐開することができれば散策路からも竜王池を望める展望が確保できる。

3|公園案内看板・誘導サインの設置・見直し

現在、伊尾木洞への竜王池側の入口は周辺に誘導サイン等がなく分かりにくい。また、竜王池周辺には細かい散策路があるものの手入れされていないため今後整備するとともに、利用者に寄り添った分かりやすい案内看板・誘導サインを設置する。

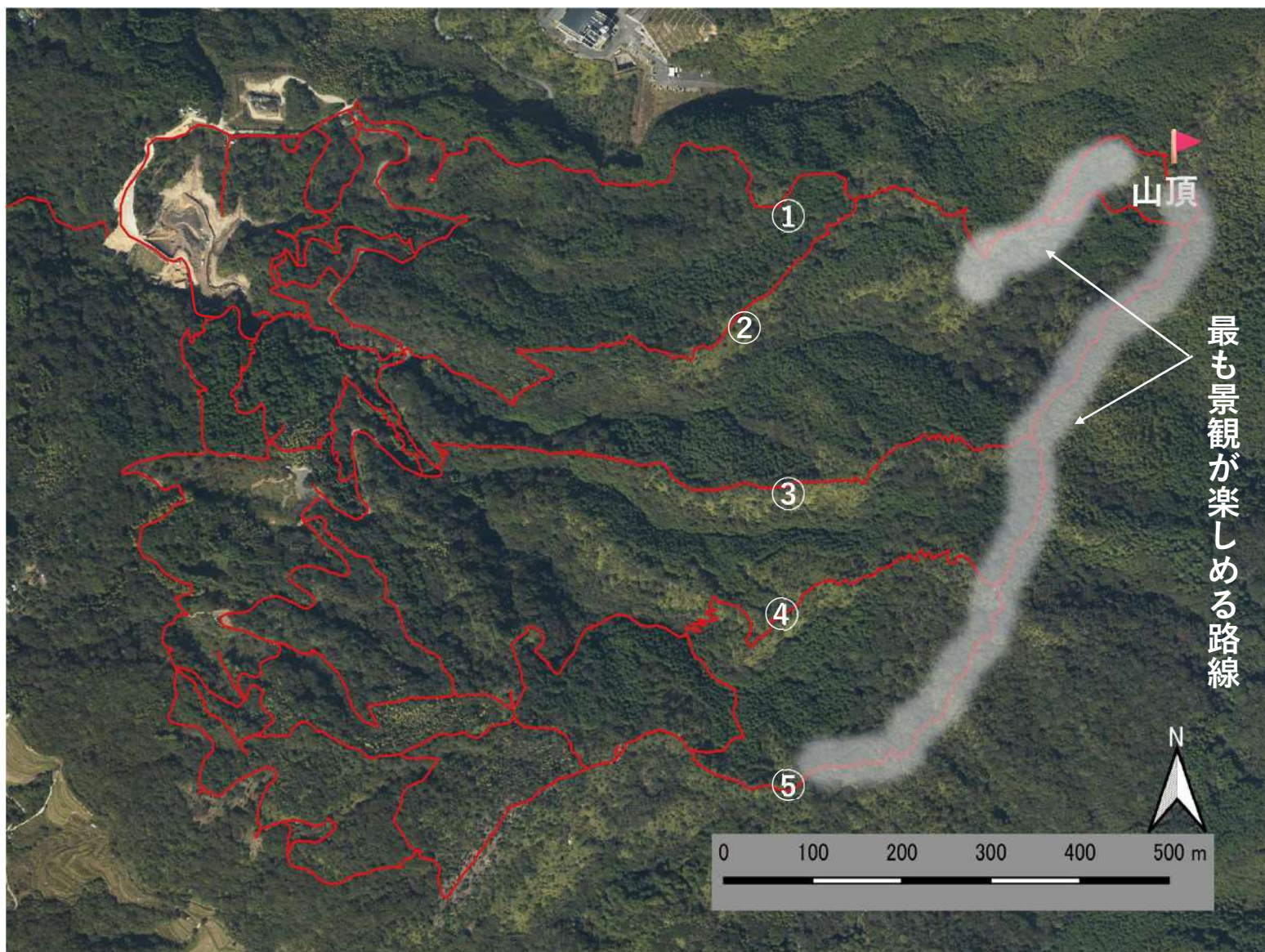
4|企業との連携

環境先進企業と取り組む協働の森づくりのフィールドとして整備を継続する。

5|竜王池を周回するコースの価値

現在、竜王池を周回することができる散策路はあるが、誘導サインが老朽化したり、周囲の草木が茂って散策路を確認しづらくなっている。利用者が安心して散策を楽しめるように再整備し、伊尾木洞からの散策路との接続を改善するなど、伊尾木洞と一体となったコース設計を検討する。また、竜王池の水辺にアクセスできる場所やランドマークになるスギ、平場のあるモミジ林を有効活用する。

エリア改善イメージ ロングコース全貌



山頂までのトレッキングコース（5コース）

- ①外周（北・山側コース）
- ②モクレンの道
- ③ハギの道
- ④クチナシの道
- ⑤外周（南・海側コース）

6|山頂の展望スポットの整備

現在、山頂は周辺の樹木が成長しており展望が良くない。景観を損ねている樹木や枝を撤去し、登頂時の達成感を感じることができる場所にする。トレッキング中に目的地である山頂の位置が確認できるランドマークを設置する。

7|コース名の命名

樹種の名前がついているコースはその樹種が目立つように整備する。

8|各コースのランドマークの策定

9|誘導サインの設置・修繕

10|崩落橋などの残材・ロープ・枯れ木などの撤去

11|コース名の植物を目立たせる整備



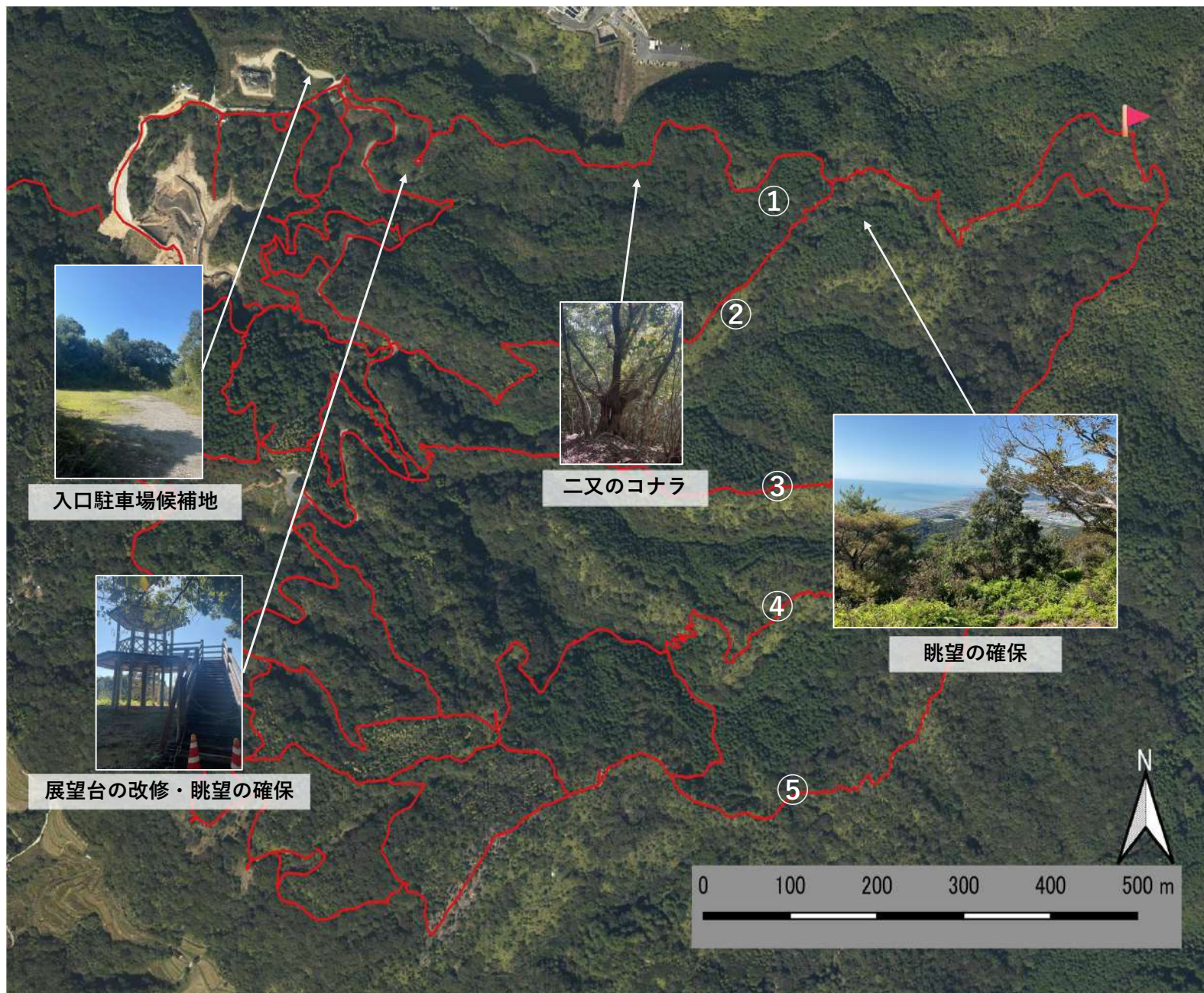
←頂上の様子
木の背丈が高く景色
を楽しめない



(例)

↑コースから山頂位置が確認できると
トレッキングをより楽しめる

エリア改善イメージ ロングコース① 外周（北・山側コース）



1| 山頂まで最短距離でアクセス可能

①コースは距離が短く、他のコースに比べ山頂までアクセスしやすい。一部土が流出して滑りやすいため階段を整備・修繕して初心者向けの気軽に山頂まで行けるコースに整備する。

2| 入口駐車場

現在、公園入口に駐車スペースはなく、基本的に中央広場に停めることになっている。公園範囲外ではあるが、隣接の平場を活かし①コース利用者のための駐車場を確保する。

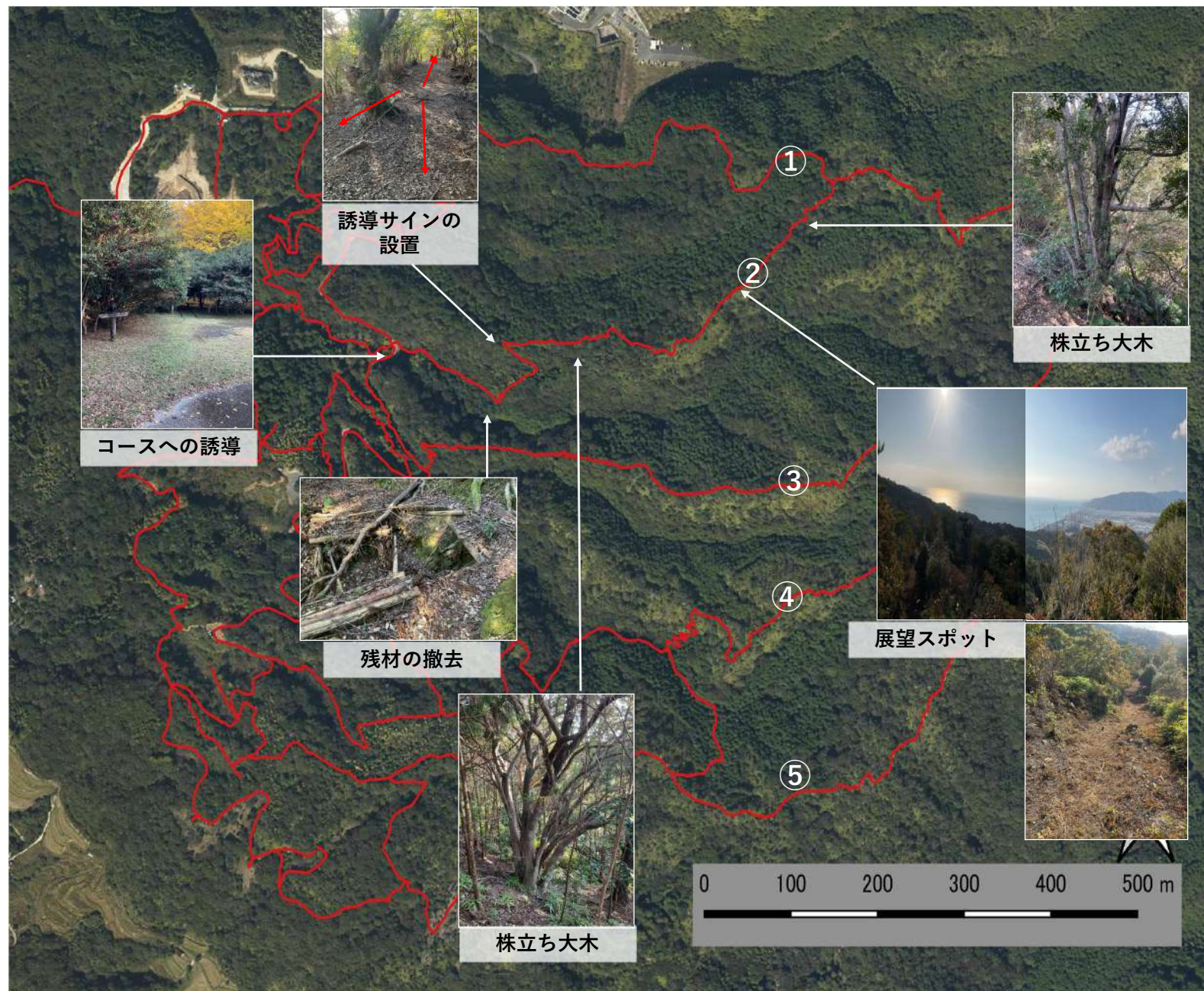
3| 二又のコナラ

コース中には面白い樹形のコナラがあり、周囲の見通しを確保してランドマークとして活用する。

4| 展望スポット

現在閉鎖中の展望所やコース中では安芸市内や土佐湾を望むことができるが、樹木の枝が張っているためそれらを取り除く。

エリア改善イメージ ロングコース②（モクレンの道）



1| 景色を広く見渡せるスポット

②コースには稜線上に開けた場所があり現状のままでかなり広い範囲を一望できる。なだらかな場所なのでベンチを置き、展望・休憩スポットとして活用する。

緩やかな上り坂が続くので中級者向けに自然や景色を見渡しながらかしめるコースとする。

2| 入口の誘導

②コースの始点はヤブツバキのトンネルの先になっており分かりにくく、誘導サインを設置しコースへの誘導を整備する。

3| 株立ちの大木

株立ちの大きなスダジイ・ヤマモモがあるので目立つように周囲を整備し見通しを良くする。

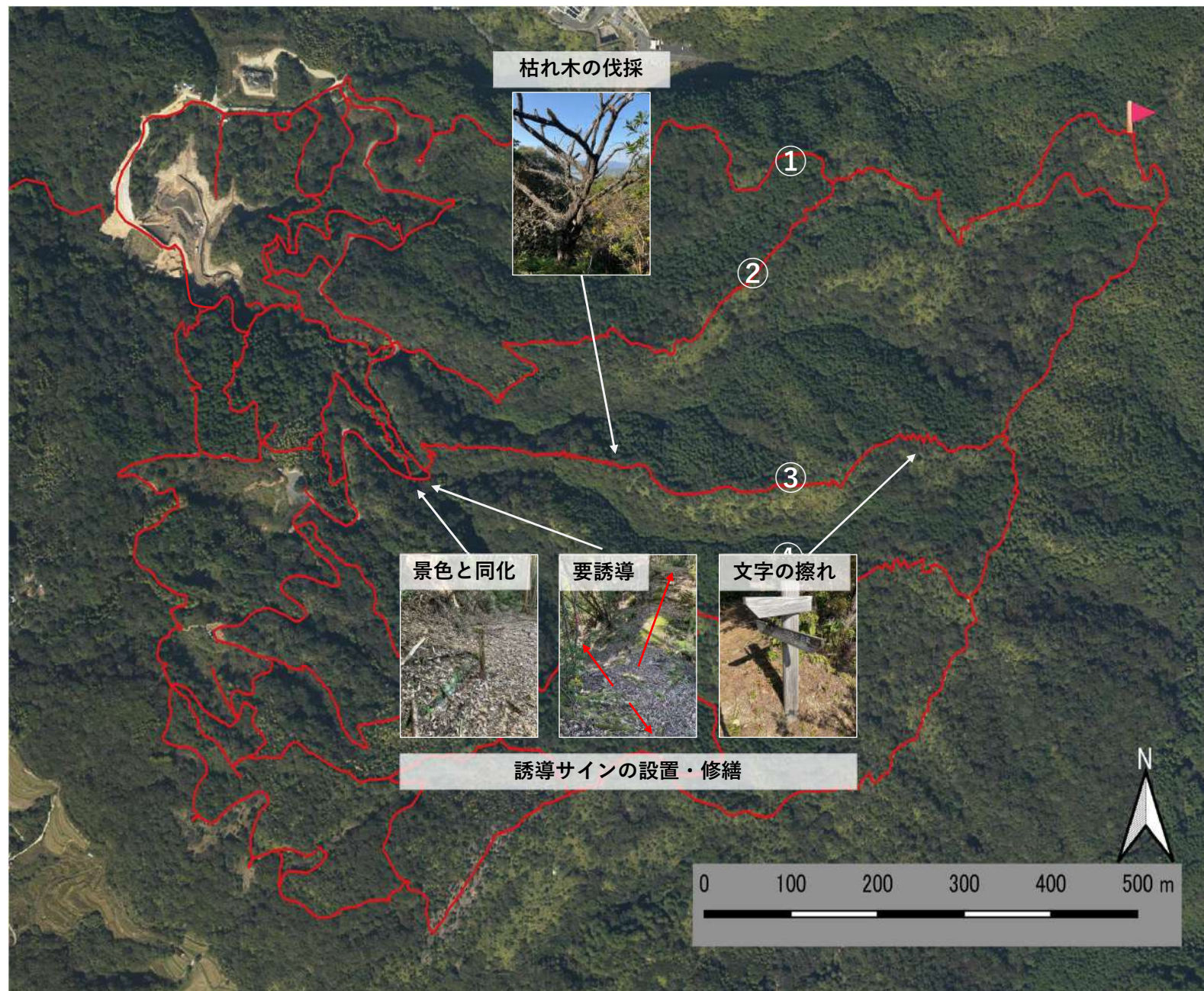
4| 残材の撤去

②崩落した橋がそのままなので残材を撤去する。

5| 誘導サインの設置

分岐部が認識しにくいので誘導サインを設置する。

エリア改善イメージ ロングコース③（ハギの道）



1| 緑に囲まれた山道

③コースは樹木に囲まれており上り坂が続くため、景色を楽しむ・気軽に山に登る人よりも山でのアクティビティに慣れた人の体力作り・トレーニング向きのコースとする。

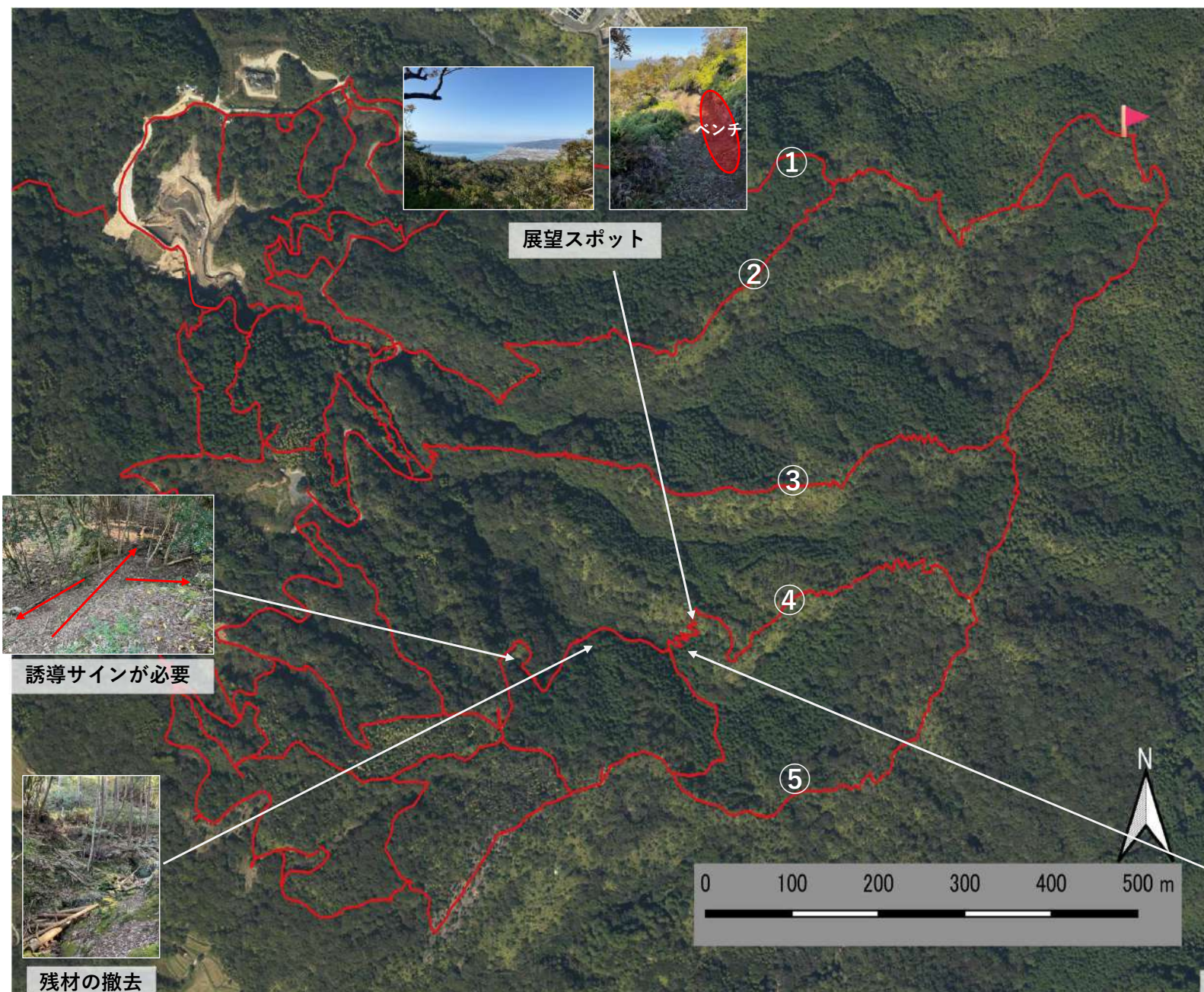
2| 誘導サインの設置・修繕

③コースの誘導サインは文字が薄れていたり誘導サインがなくルートが紛らわしい場所があるので整備する。

3| 枯れ木の撤去

市内側を望める場所に枯れ木があるため景観・安全上の観点から伐採する。

エリア改善イメージ ロングコース④（クチナシの道）



1| 谷を越えるコース

④コースは谷を越えるため起伏に富んだアップダウンを楽しむコースとする。

2| 展望スポット

現在谷を越えた先の山腹からは土佐湾と安芸市内が望めるため、展望・休憩スポットを設置する。

3| 補助ロープの点検

補助ロープを定期的に点検し、ロープの耐久性が下がっていたりロープを巻いている樹木の樹勢に異常がないか確認する。

4| 残材の撤去

人工林内に放置されている残材は景観・安全上の観点からも取り除く。

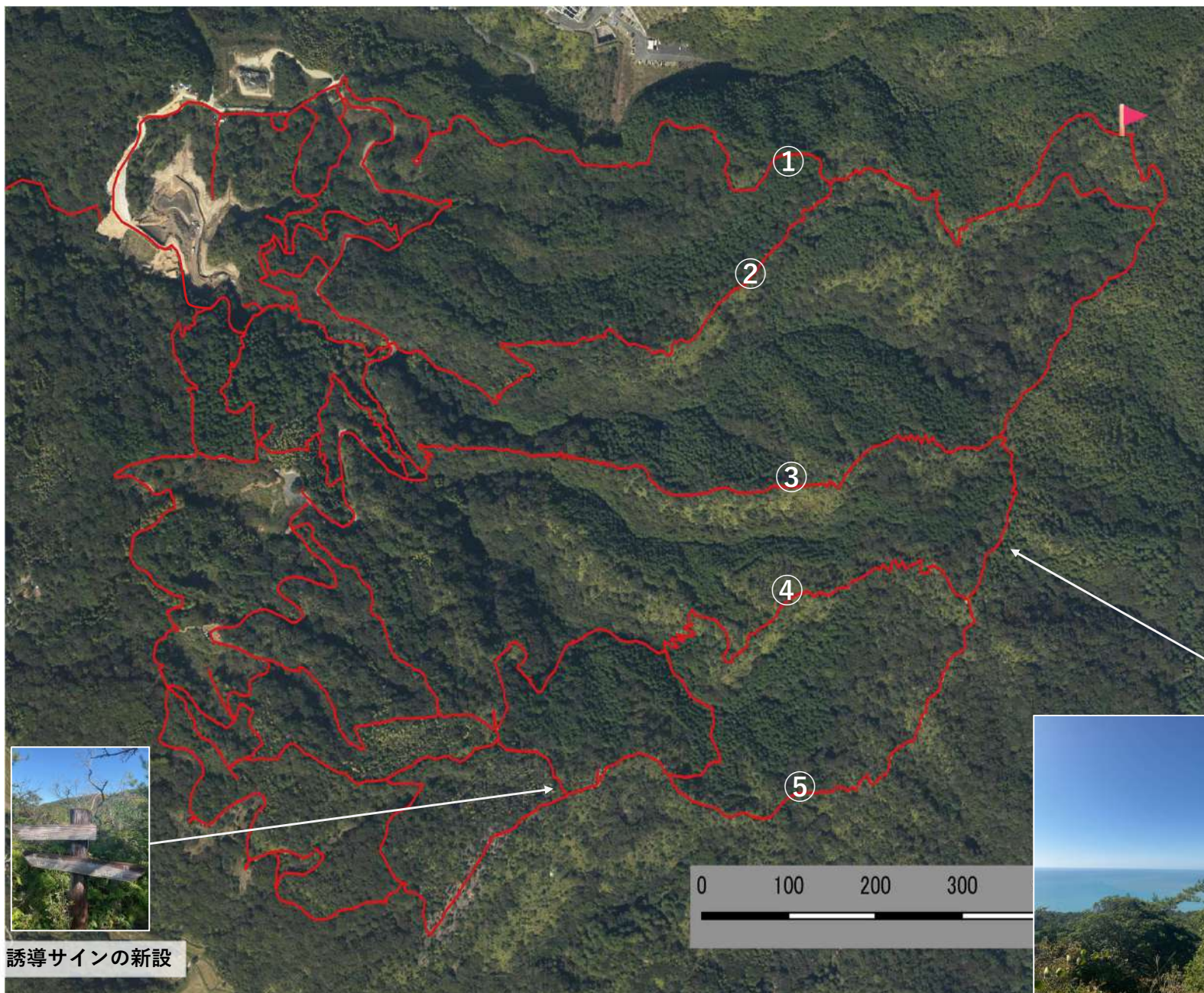
5| 誘導サインの設置

谷部は暗く、道がわかりにくいので柵や誘導サインを設置する。



ロープの点検

エリア改善イメージ ロングコース⑤外周（南・海側コース）



1| 最も距離が長いコース

⑤コースは公園の外周を回るため、距離が長く、加えて、頂上手前が急こう配になる。山頂付近は③、④コースとも合流するので幅広い人が利用することを想定し歩きやすいように整備する。

2| 展望スポット

稜線を歩くため海・安芸市内・山を広く望むことができるが一部樹冠がせり出しているため枝を落として見通しを確保する。

3| 誘導サインの設置

誘導サインの文字が擦れているため、ほかの場所と同様新しいものに交換する。

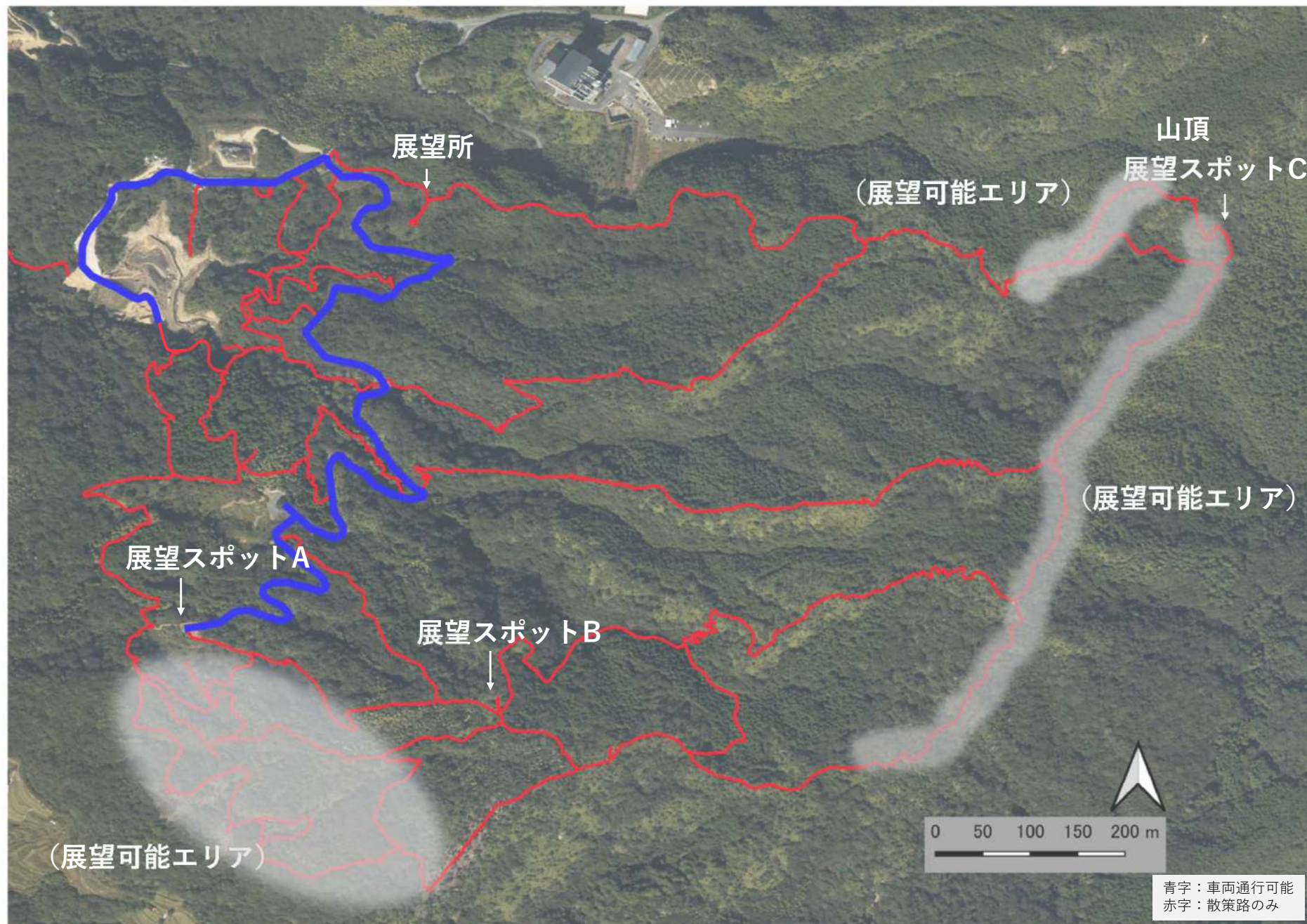
展望スポット



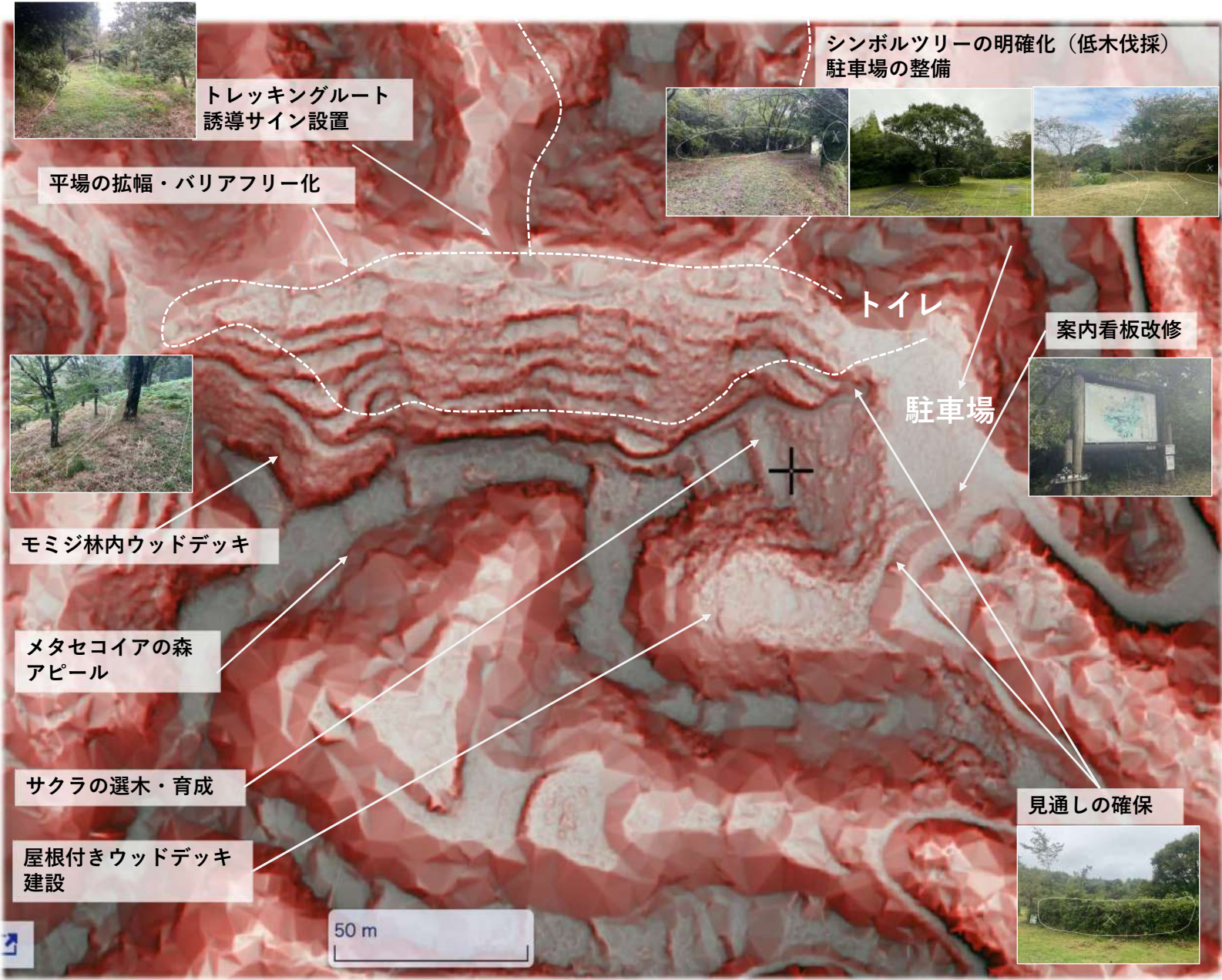
誘導サインの新設

展望スポットの整備

安芸市東山森林公園の強みである安芸市内や土佐湾を望む景色を複数個所から見れるようにする。定期的に周辺の木々の手入れを行う。



エリア改善イメージ 中央広場



1| 案内看板改修

案内看板が老朽化しているのでリニューアル工事に伴いアップデートする。

2| 見通しの確保

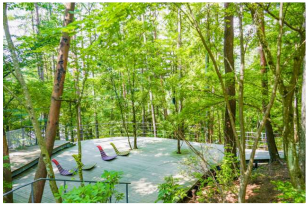
垣根によって閉塞感が出ているので取り払って見通しを確保し、解放感を演出する。

3| 平場の拡張・バリアフリー化

多くの利用者に訪れてもらえるように平場を拡張し、バリアフリー化する。

4| 林内ウッドデッキ

イベントなどに使えるスペースとして平らな場所を活用し、ウッドデッキを設置する。



5| 屋根付きウッドデッキ

雨天でもイベントが実施できるような屋根付きのウッドデッキを設置する。



6| 駐車場整備・シンボルツリーの明確化

現在の駐車場を整備し、車の動線を確保する。クスノキの周辺の垣根を撤去し、見通しの確保、樹木の存在感を強調する。

7| トイレの整備

バリアフリー化、水洗化工事を行う。建物内が暗いため、照明も確保する。

8| サクラ・モミジの樹勢回復

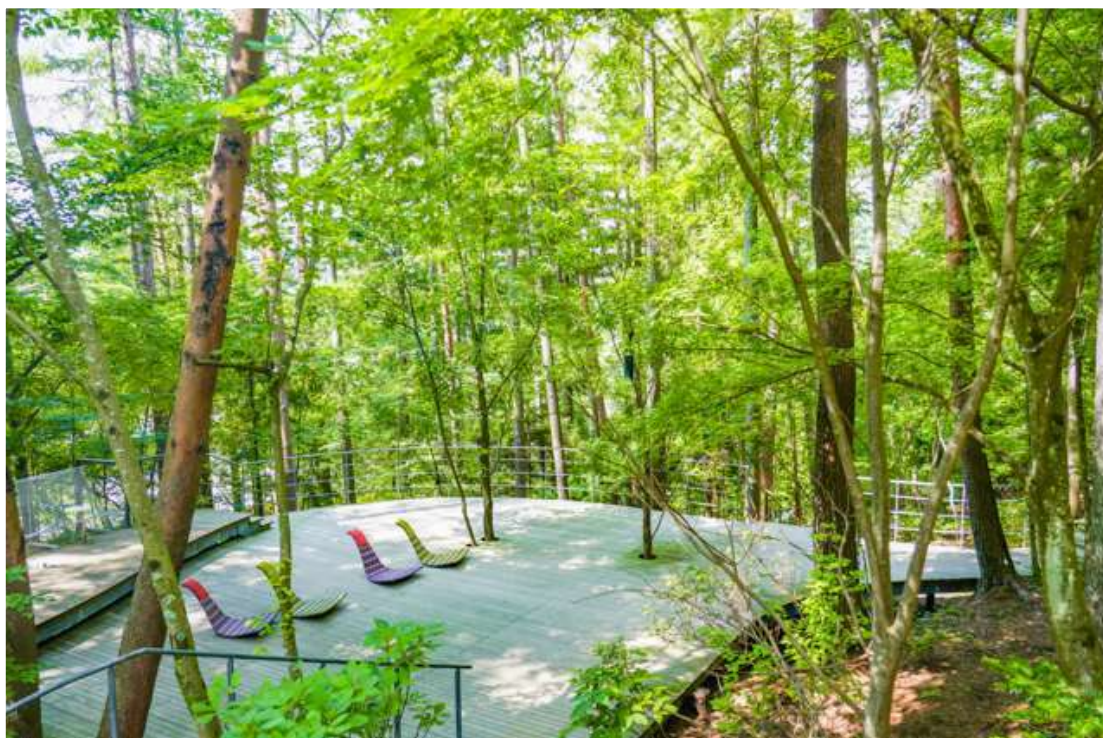
名所作りとして、サクラ・モミジの樹勢回復を行い、その景観がより際立つような剪定・間伐を行う。

ウッドデッキの新設

リニューアル方針の一つであるイベントを行える設備を新設する

林内ウッドデッキ

木々に囲まれながら森林浴や森林アクティビティを行える平たく開けた場所を造成する。

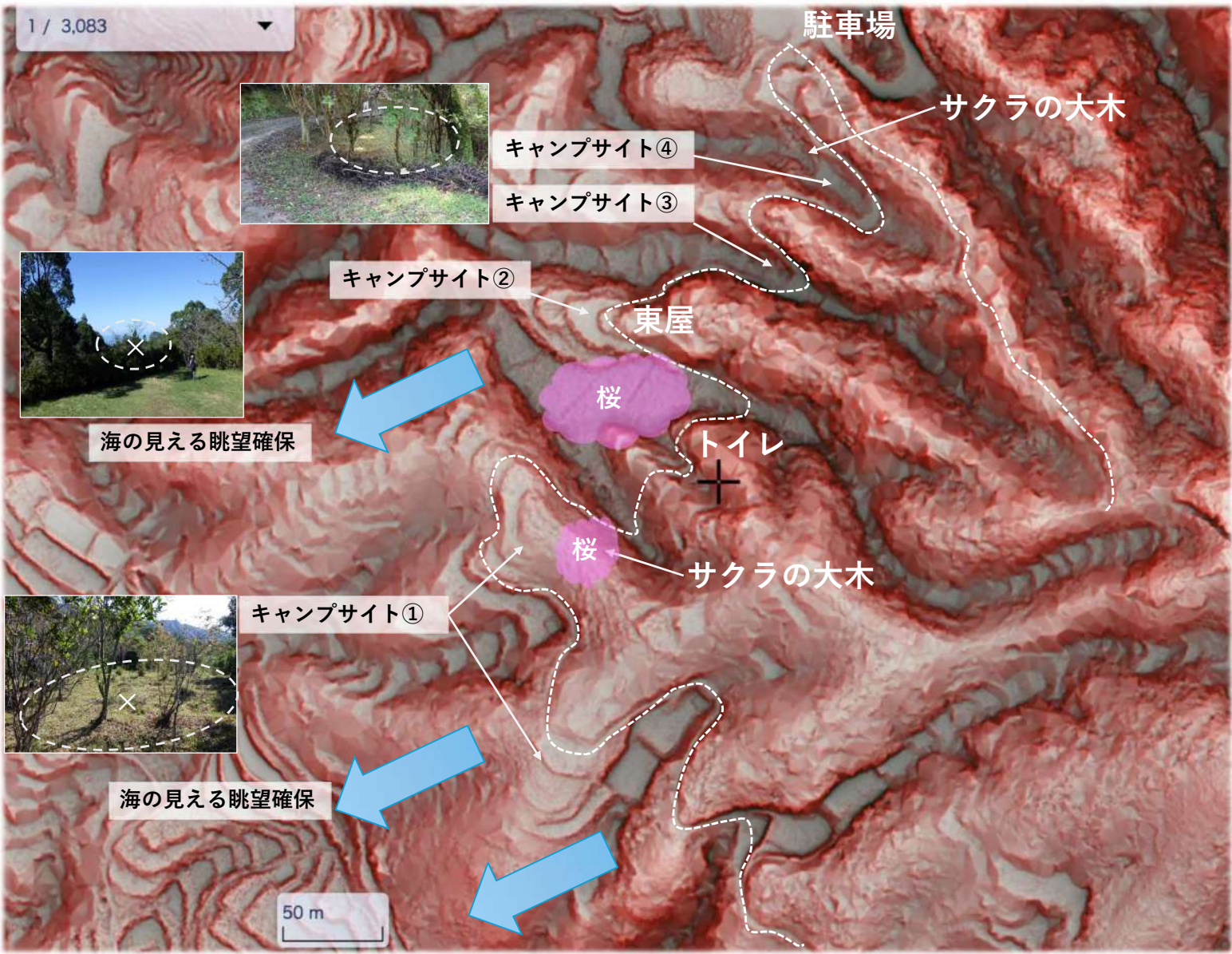


屋根付きウッドデッキ

イベントを雨天でも実施できるよう屋根付きのウッドデッキを設置し、雨でも楽しむことができる森林公園を目指す。



エリア改善イメージ キャンプサイト



1|インフラの整備

トイレ・水場・電源のインフラを整備し、管理棟・受付を行う場所を設置する。

2|アクセス整備

キャンプサイト②までは車の乗り入れが可能だが、①へは歩道しかないため乗用車等が乗り入れできるように整備する。

3| キャンプサイト候補①、②の確保

生育不良で回復の見込みのないサクラ植林地を整備し、キャンプサイト用の広い平場を確保する。できればオートサイトとしたい。

4|キャンプサイト候補③、④の確保

東屋へ向かう道中の引き返し・平場を活用する。道沿いのヤブツバキが閉塞感を出しているので撤去する。できればオートサイトとしたい。

5|海の見える眺望の確保

当キャンプ場の最大の魅力は展望である。各所から海が望めるように手前の枯れ木や高木を伐採し、安芸市ならではの土佐湾と山を一望できる眺望を確保する。

6|管理事業者の確保・体制の確立

キャンプ場の日常管理運営・情報発信・行政との連絡などを行う事業体を配置する。

7|サクラの名所づくり

過去に植栽されたサクラエリアがある。また、先人が大事にしてきたサクラの大木をシンボルに、樹勢回復・日当たりの確保などを行いサクラの名所作りを行う。

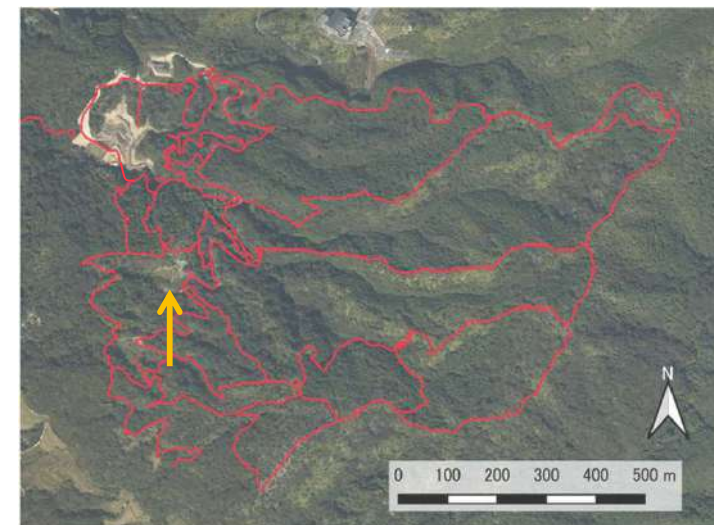
車道・散策路沿いの見どころとなる樹木が対象。樹木医による点検を実施し、利用者により安心・安全に利用してもらえるようリニューアル工事に併せて行うと良い改善措置を提案。

A.トレイルエリアの整備

B.イベントエリアの整備

C.新規事業エリアの新設

対象	中央広場：サクラ（21本）
症状	全体に活力不足、生育不良 てんぐ巣病あり 土壌の上層（1-25cm）に石礫多く固結している。養分不足。
処置	てんぐ巣病枝の切除・処分 土壌改良



てんぐ巣病の枝

てんぐ巣病は感染症である。このまま放置すると、感染拡大および枯死する可能性がある。除去して場外処分する必要がある。



土壌の状態

サクラの生育に必要な根が伸長するのに妨げとなる石礫が多数あり。固結土壌である。養分も不足している。



全体の生育不良

日当たり良好、斜面で水捌け良好にも関わらず、生育は全体に不良である。最大の原因は土壌の固結と養分不足であり、これらを改善する土壌改良を行い、安芸市東山森林公園のシンボルとなるサクラの名所を作っていく必要がある。

A.トレイルエリアの整備

B.イベントエリアの整備

C.新規事業エリアの新設

対象

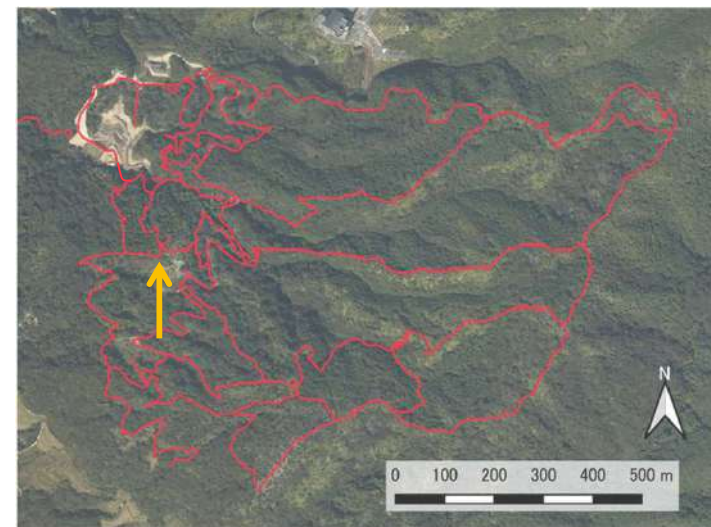
中央広場：モミジ植栽群

症状

全体に根元・幹に樹皮欠損のある木が多数
枯損木もあり

処置

枯損木・枯れ枝の撤去



モミジ植栽群（全景）

段々地形に植栽されたモミジ。樹勢は全体に普通程度であるが、剪定等を行っていないため枯れ枝などの目立つ箇所も多い。



樹皮欠損

過去何かしらの原因で樹皮が傷つき、欠損・腐朽している箇所がある。



枯れ枝

全体に枯れ枝が目立つ。枯れ枝は、このあと落枝するリスクがあるため剪定・除去を行うこと。



枯損木

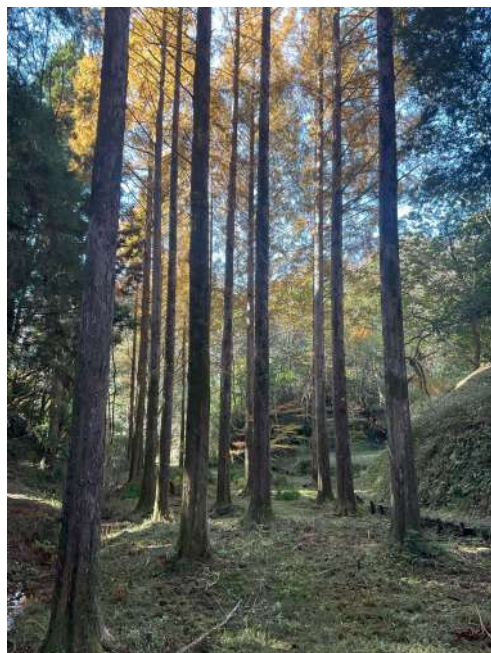
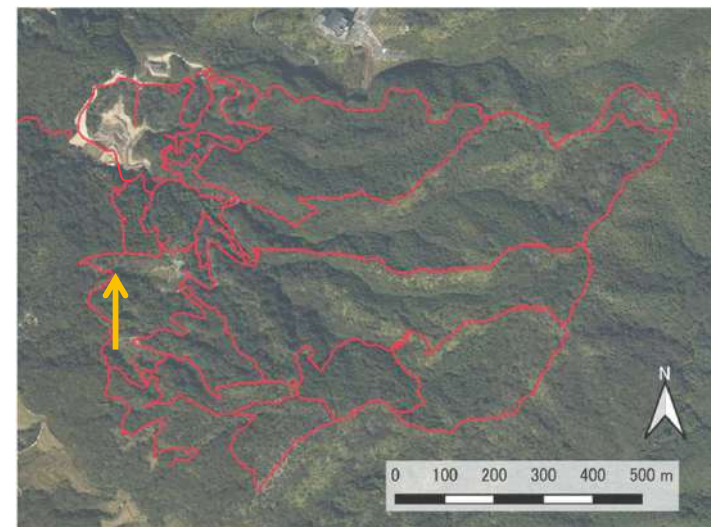
枯損木は倒木・落枝のリスクがある。利用者の往来のある道沿いは特に早期撤去すること。

A.トレイルエリアの整備

B.イベントエリアの整備

C.新規事業エリアの新設

対象	メタセコイア群
症状	南側に隣接する針葉樹林により日当たりは不良であるものの、樹勢・樹形は良好。
処置	（できれば）根元周りの低木の整備。残材処分。



メタセコイア植栽群（全景）

谷地形に植栽され、沢・湿地に立地している。生育良好で、遠くからでもよく目立つ樹群を形成。紅葉の時期は特に美しい。



針葉樹との競合

南側の隣接する針葉樹により被圧されている。メタセコイアは日当たりを好み、また散策路を明るくするためにも間伐を行うと良い。



低木の整備

低木が繁茂しているために、散策路が歩きにくく、またメタセコイアの静謐な空間が阻害されている。低木類は見通しの確保のために撤去すると良い。



残材処分

林内の間伐木がそのまま切り捨てられているため、公園の景観機能が損なわれている。片付けを行う。

A.トレイルエリアの整備

B.イベントエリアの整備

C.新規事業エリアの新設

対象

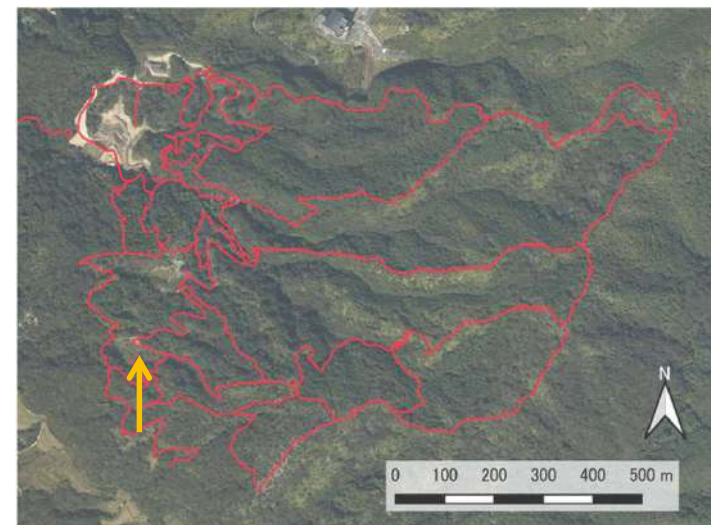
サクラ植栽エリア（東屋周辺）

症状

全体に樹勢・樹形悪い。
樹皮には蘚苔類の付着が目立ち、枯枝・枯損木も多い。

処置

枯枝・枯損木の撤去。日当たり確保。土壌改良。



サクラ植栽群（全景）

植栽地は全体に笹に覆われており、定期的な草刈りを継続する必要がある。やや排水が停滞しやすい谷地形に位置している。



子実体の発生した枯損枝

樹皮にはウメノキゴケが多く付着しており、子実体が発生した枯枝・枯損木も多い。



枯れ枝

すでに枯れてから数年が経過しており、回復の見込みの低いサクラが多い。枯損したサクラは景観上撤去した方が望ましい。



日当たり不良木

南側にシイ・カシ類の樹群が繁茂しており日当たりが悪いエリアのサクラは、一層樹勢が悪い。日当たりの確保及び景観のために、伐開の必要がある。

A.トレイルエリアの整備

B.イベントエリアの整備

C.新規事業エリアの新設

対象

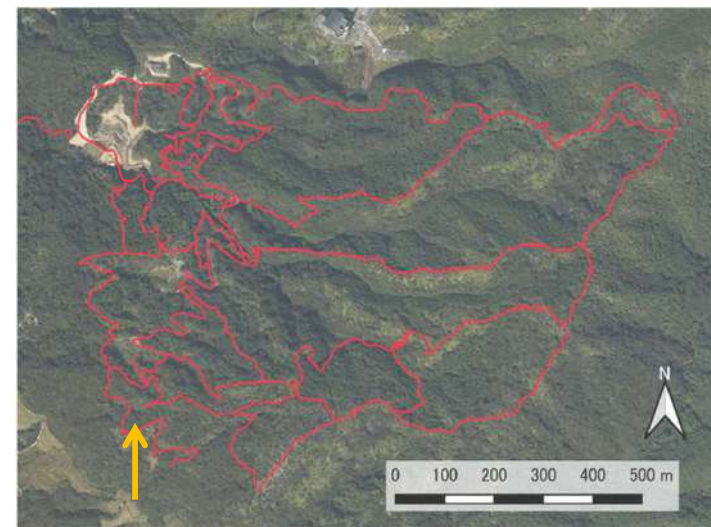
サクラ植栽エリア（60周年記念植樹エリア）

症状

全体に新梢の伸びが少なく、生育不良。
日当たりは不良。竹の侵入が懸念される。

処置

危険枝・枯枝・枯損木の撤去。日当たり確保。土壌改良。



サクラ植栽群（全景）

植栽地は全体に笹に覆われやすく、定期的な草刈りを必要としている。排水が良好な斜面に位置しており南側には海岸が望める。



散策路上の危険枝

散策路にかかる形で、腐朽した危険枝が傾斜している。安全確保のために、除去すること。



サクラの大木

当範囲内に、自生のサクラ大木が存在。（別途、樹木診断報告書の通り）海岸の眺望が望めるサクラスポットとしては維持管理を改善し、保存していきたい。

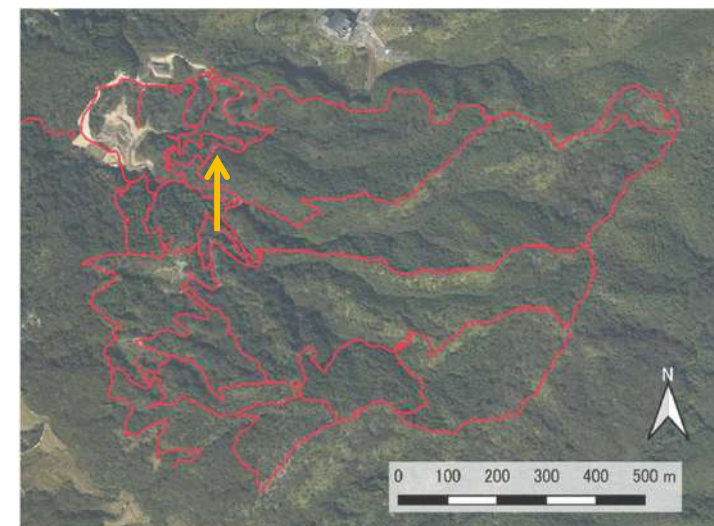


A.トレイルエリアの整備

B.イベントエリアの整備

C.新規事業エリアの新設

対象	サクラ並木（入口→中央広場）
症状	全体にまだ若木。全体に日当たりが悪く、樹勢不良。 新梢の伸長悪く、枯れ枝多い。 てんぐ巣病多数あり。樹皮には蘚苔類の付着が目立つ。
処置	危険枝・枯枝・枯損木の撤去。日当たり確保。土壤改良。



サクラ並木（全景）

車道に面した林縁のサクラ並木。周囲が高木に覆われており、日当たりが望めない。全体にまだ若木である。大体は斜面植栽。



サクラ並木（全景）

樹形は崩れているサクラが多い。樹皮には蘚苔類の付着が目立つ。



てんぐ巣病の枝

新梢の伸長悪い。てんぐ巣病の枝が大量に発生している。早期に除去しなければ、感染拡大と樹勢の一層の衰退原因となる。



A.トレイルエリアの整備

B.イベントエリアの整備

C:新規事業エリアの新設

基本情報

サクラ

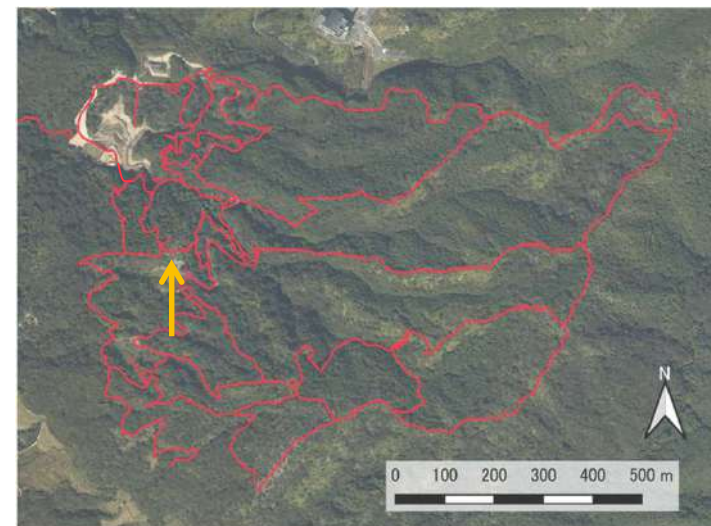
樹高6.5 m、幹周245 cm、枝張り9.0 m / 状態：健全

症状

病害虫コスカシバによる樹液の漏出あり。
根元接続部の異常（入り皮）あり。

処置

（できれば）日当たり確保（＝東側に位置しているナギの伐採）
土壌改良。



サクラ（全景）

中央広場横、モミジ群に接するように位置しているサクラ。駐車スペースからも近く、バリアフリーでアクセスすることができる。



病害虫コスカシバの被害

穿孔被害により樹液が漏出している。場合によっては、樹勢衰退の危険性もある。また、スズメバチをはじめとする危険な虫を誘引するので管理上注意すること。



根元接続部の異常（入り皮）

現時点は危険ではないものの、今後の生育によっては、幹の支持力が下がる場合がある。注意して管理を続けること。



露出根の被害と巻根

南側に根が露出して盛り上がっている。根が傷つくとそこから腐朽菌が侵入し、根系を腐らせることがある。管理時には草刈機の刃などを当てないように注意すること。

A.トレイルエリアの整備

B.イベントエリアの整備

C.新規事業エリアの新設

基本情報

クスノキ

樹高27.0 m、幹周420 cm、枝張り15.0 m / 状態：やや不良

症状

隣接木のヒノキと著しい被圧・競合をしている。
全体に枯れ枝はほぼないものの、1箇所散策路上に折れ枝あり。

処置

折れ枝の除去
周囲の競合を改善し、日当たりを確保する



クスノキ（全景）

トレイルエリア：ショートコースのシンボルツリーとなるクスノキ。針葉樹林の斜面に位置している。光を求めて樹高は高い。イベントなどで活用優良木。



周辺のヒノキと競合

クスノキは明るい場所を好む樹種である。周辺はヒノキ他に被圧されており、日当りは悪い。今後クスノキらしい樹形・樹形のために、周辺を間伐し日当たりを確保すると良い。



根元にコブ症状あり

コブの種類によっては、根元・幹の支持強度が下がっている可能性があり、樹木の機械診断を行い内部の状態を樹木診断することが望ましい。



折れ枝あり

散策路上部に折れ枝あり。落枝の可能性があり、事前に除去すること。

A.トレイルエリアの整備

B.イベントエリアの整備

C.新規事業エリアの新設

基本情報

サクラ

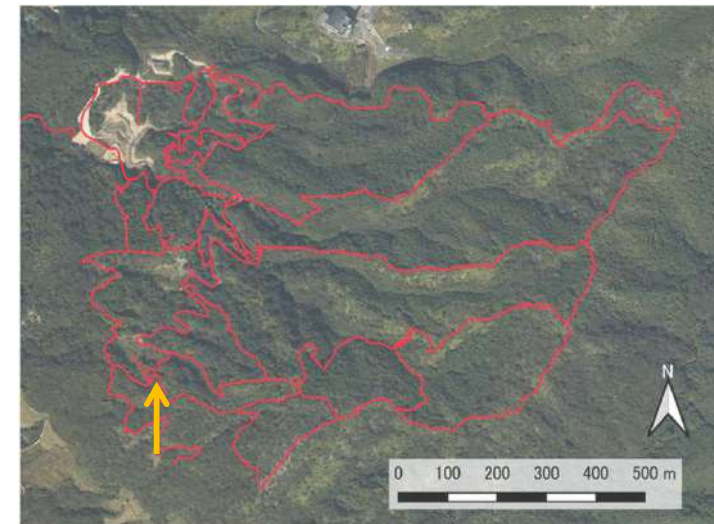
樹高6.5 m、幹周130cm、枝張り5.0 m（双幹）／状態：やや不良

症状

全体に葉が小さく、新梢・新芽のつきは悪い。
南側幹に樹皮欠損・芯に達した開口空洞がある。

処置

周辺のサクラも含めて**土壌改良**を行い、安芸市東山森林公園の**サクラの名所**として空間を作っていくと良い。



サクラ（全景）

海への眺望が望める場所に生育し、サクラの名所づくりに活用したい。



幹の樹皮欠損

南側幹に樹皮欠損あり。現在はまだ被害が軽微であるが、今後被害が拡大する可能性がある。サクラの維持管理において、このような傷を作らないことが重要である。



露出根の腐朽

斜面地に位置している当該木。斜面下側土壌が流出し、根が露出・腐朽しているため、今後被害の拡大に留意する必要がある。



根元に芯に達した開口空洞

根元に芯に達した開口空洞がある。露出根の腐朽と合わせて今後被害の拡大に留意する必要がある。

A.トレイルエリアの整備

B.イベントエリアの整備

C.新規事業エリアの新設

基本情報

サクラ

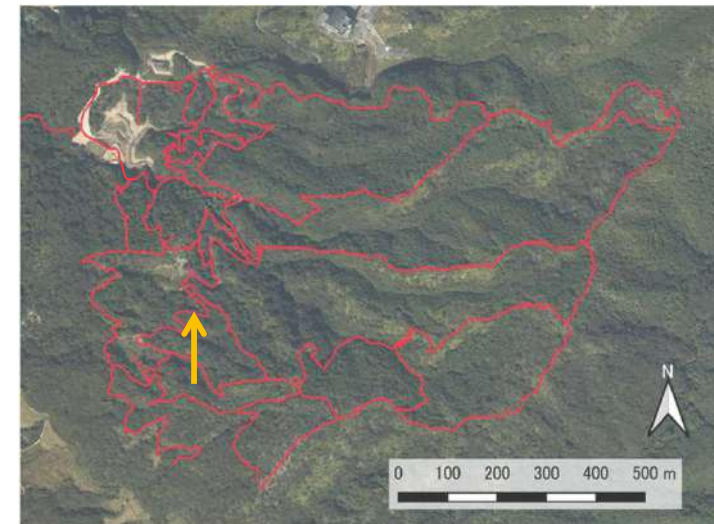
樹高11.0 m、幹周300cm、枝張り10.0 m（株立）／状態：不良

症状

10本の株立個体で、うち5本がほぼ枯死状態。1本は西側に折損。
東側に芯に達していない開口空洞あり。

処置

周辺の常緑樹を撤去し日当たりを改善すること。すでに枯れている
枯損部・腐朽枝は除去。土壌改良を行うこと。



サクラ（全景）

中央広場からも近くアクセスしやすい位置に立地。周辺木の生育により著しい被圧を受けて徐々に衰退したと思われる。サクラの名所づくりに活用したい。



株立であり、入り皮上に接合

10本の株立であるが、それぞれが入り皮上に接合しており支持力が低い。東側には開口空洞があり、樹木機器診断を用いて内部の状態を診断することが望ましい。



分岐部からの幹折れ

西側の株1本が最近折損し倒伏している。ベッコウタケなどの子実体も多数見られ、根元の腐朽が懸念される。



腐朽・欠損・枯損枝多数

危険な枝が多く早急に剪定除去を行い、樹勢回復のための措置を行う必要がある。
（散策路は対象木よりも上部にあるため、倒伏・落枝による事故の危険性は低い）

A.トレイルエリアの整備

B.イベントエリアの整備

C.新規事業エリアの新設

基本情報

クスノキ

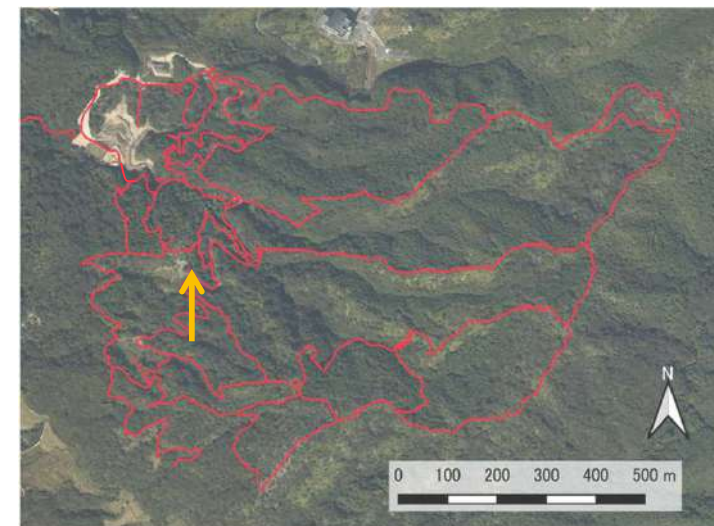
樹高6.0 m、幹周（計測不可）、枝張り12.0 m／状態：健全

症状

ほぼ異常なし。
やや枯れ枝あり。

処置

低木ツツジ類の撤去。
周辺土壌が固結しているため、掘削し膨軟化すると良い。



クスノキ（全景）

中央広場のシンボルツリー。クスノキらしい緑陰を形成し、夏場の日陰に重要である。周辺が駐車スペース利用により転圧され固結している。根の生育のため膨軟化したい。



枯れ枝

枯れ枝は多くはないが、少しあり。子供や自動車の往来もあるため、落枝を未然に防ぐため撤去しておくこと。



北側大枝の樹皮欠損

過去の幹折れ跡が樹皮欠損となっている。現時点では危険性は高くないが、今後腐朽菌が侵入・進行する可能性が高いため、観察を続けること。



葉の状態

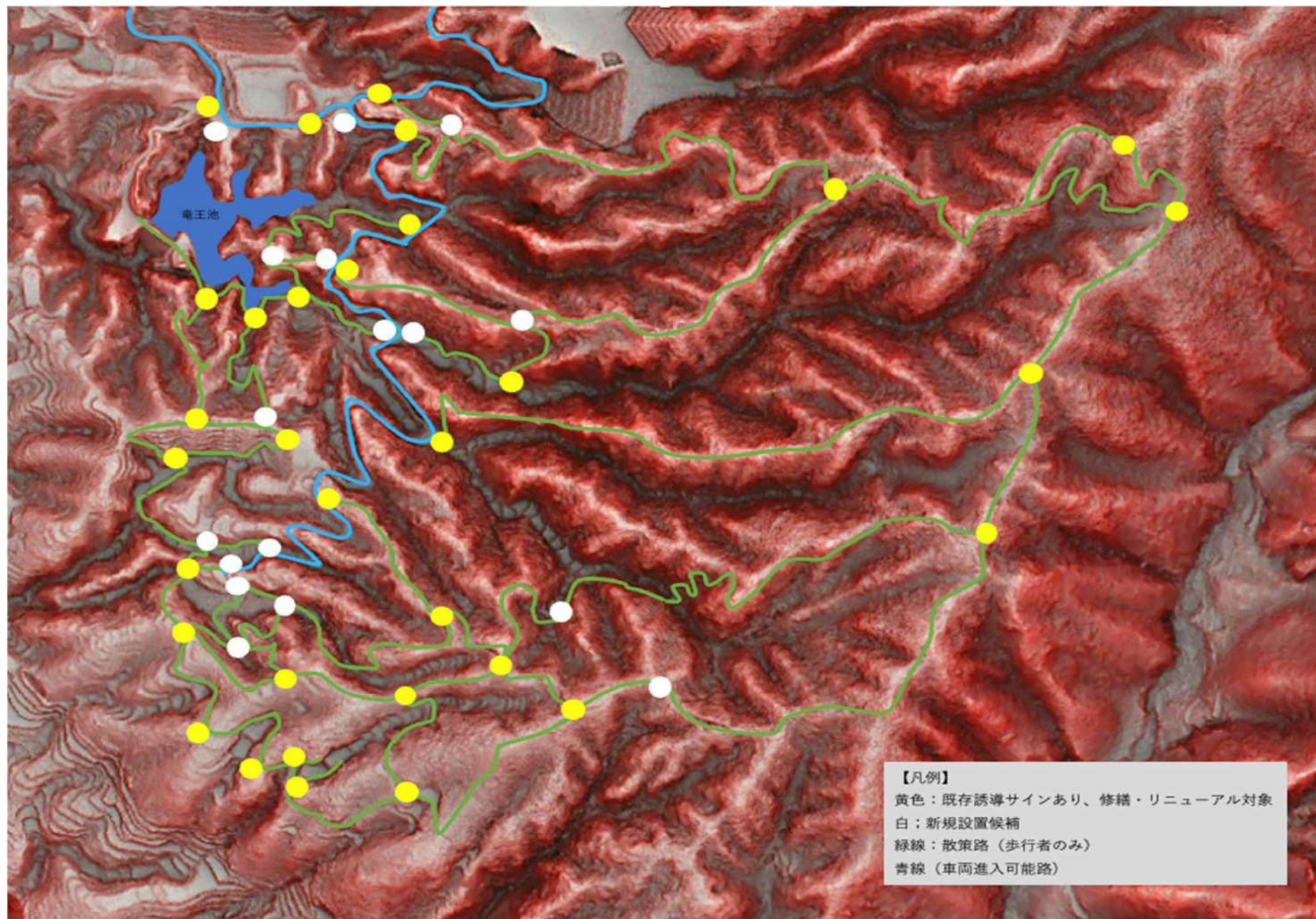
やや病徴があるものの、軽微である。枝葉の密度は、やや疎である印象があるため、樹勢向上のために今後は根系範囲の土壌の固結を予防する策を講じたい。

案内看板リニューアル・新設（案）

案内看板のリニューアル・新設：公園の入口やそのアプローチ沿いに設置し、安芸市東山森林公園の認知向上・利便性の改善を行う。



誘導サインのリニューアル・新設：分岐部や道に迷いやすい場所を中心に誘導サインを設置・見直し、安心して散策できるようにする。



多言語対応の誘導サイン類の作成・設置

・広大な園内を移動する際に、利用者が安心して滞在できるように、シンプルで分かりやすく、利用者の立場でデザインされた誘導サインは重要な機能である。

・インバウンドを想定し、多言語での誘導サインや施設名を表示するサインを設置する。注意事項や禁止事項なども多言語で提供する。ひと目でその表現内容を理解できる情報提供手段である案内用図記号も活用して外国人旅行者にとって分かりやすい案内となるよう努める。

（多言語対応のサイン類は当初は英語で作成することとし、外国人旅行者の利用が増加してきた段階で、利用者の国籍等を分析することで、対応言語数を増やすかどうかを検討するとよい。）



デザインの統一と景観配慮

・誘導サインは園内に多数設置することとなる。景観を妨げず、全体で統一されたデザインとすることが、安芸市東山森林公園のブランディングの上で重要である。

・また今後の安芸市東山森林公園の機能拡張に備えて、可変可能なデザインにしておくことで、スムーズな誘導サインの追加・変更が可能となる。



①広報パンフレット・公園マップの作成、配布

安芸市東山森林公園がリニューアルによってどのようなことができるようになったのか、どこに何があるのか、特にトレイルコースごとの所要時間が分かるパンフレットを作成する。

また、インバウンド対応として多言語のWEBサイトを構築。近年は、観光スポットを調べるためにGoogleマップを利用する人が世界共通で増加しており、Googleマイビジネスに登録することにより、利用者の携帯端末で自動的に利用者の言語に翻訳され外国人への発信が簡便である。Googleマイビジネスに登録することで、正しい施設概要や営業時間、公式の画像などが掲載でき、また希望に応じて、利用者の口コミや評価をもって周知拡大が期待できる。

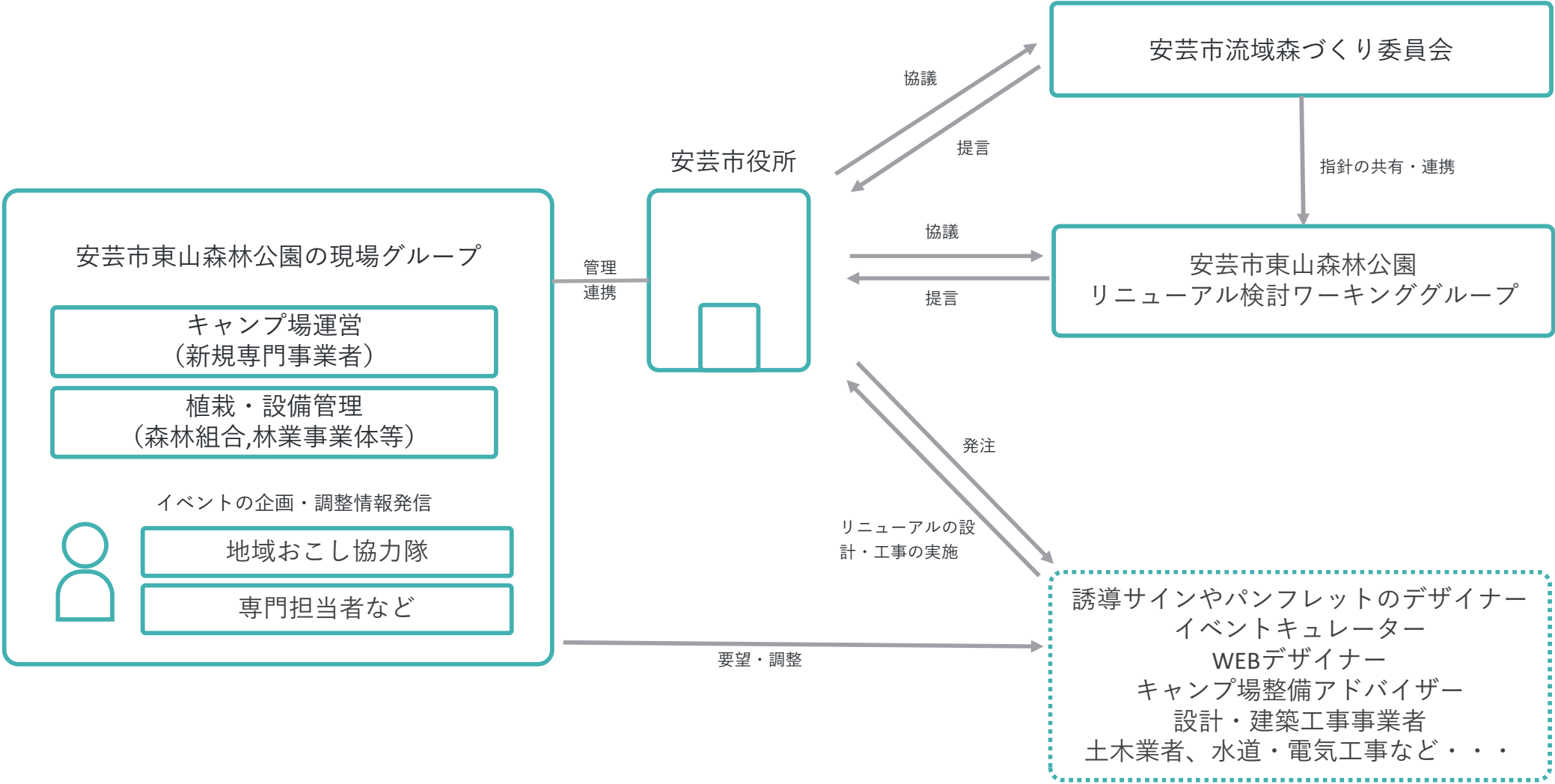
②情報発信

安芸市東山森林公園がリニューアルしたことを広く知ってもらうため、市のHPやSNS（X（旧Twitter）やInstagram、YouTubeなど）といった大多数がアクセスできる媒体を活用して安芸市東山森林公園ではどんな体験ができるのか、具体的なイメージができる宣伝を実施する。

③イベントの実施

リニューアルで整備した場所（ウッドデッキなど）を活用して市民団体と連携してイベントを開催し、安芸市東山森林公園の認知向上を目指す。トレイル、森林浴、ヨガ、キャンプなどのワークショップを定期的に行う。





リニューアル費用（概算）

ゾーン	内容	費用（万円）	備考	リニューアル全体像参照 (P5)
A/B/C	案内看板の更新	113	・既設の案内看板の支柱を利用することとし、案内板のみ更新 ・「1支柱に2枚の案内板があるタイプ」×50基を想定 ・支柱については半分が利用不可であることを想定して、50本は新設する として試算	A-b,3,9 B-c,1 C-2
B/C	平場の整備・区画化	800	・部分バリアフリー化 ・駐車スペースの利便性向上 ・キャンプサイト利用可能区画の増加	B-a,3 C-a,1,3,4
B/C	トイレの水洗化	1,200	・電力供給のみがあれば水の給水・排水の必要がないユニット型を想定 ・中央広場への設置を想定	B-7 C-1
B	林内ウッドデッキ	2,000	概算	B-b,4
B	屋根付きウッドデッキ	5,000	概算	B-5
C	キャンプサイトの運営体制確立	900	・売上（目安）30区画×5,000円×300日×50%稼働＝22,500,000円	C-a
C	キャンプサイト候補地①までの 散策路の拡幅	2,942	・車両での乗り入れが可能なように ・軽自動車のみ通行可能（幅員2.5m） ・舗装あり	C-1,2
重点	公園マップの作成	49	・デザインおよび印刷（300部）を想定 ・キャンプサイトオープンなど変更があればその時点での対応が必要	A-b 重点-1,2,3
重点	森林イベント・普及啓発	121	・1回の開催にかかる経費	A-5 重点-c
重点	担当ディレクターの配置	500	イベント企画・運営、広報、企業連携、認証取得等ブランドディレクションのできる者とする	重点-a,b,c